学校番号 C2101　桃谷（通）　　令和2年度 公民科

科目名 ：	政治･経済	単位数 ： 2 単位	必要スクーリング出席回数： 2 回
使用教科書 ：：高校政治･経済 （実教出版）			
学習書 ・副読本 ：：なし			

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レ ポ ー ト [R]	6 枚	2 枚	2 枚	2 枚
スクーリング [S]	8 回	3 回	3 回	2 回
テ ス ト [T]	1 回	○	×	×
その他 （課題・実習等）	試験の点数が低い場合、課題が課されることがあります。			

1 担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

政治経済を学ぶ目的は、批判精神をもった人間として、一人ひとりが個人として尊重される、自由で平和な民主的社会を、どのようにして作っていくかを考えることです。政治経済の教材は教科書と「毎日のニュース」です。現代は、情報があふれている情報社会です。書籍・新聞などの出版物、テレビ・インターネットなどから情報を入手し、自分で何が正しいのか考え、関心を持って学習を進めていきましょう。

2 学習の到達目標

・社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。
・選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び政治・経済に関わる諸課題に関して理解するとともに、諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
・現代の諸課題について、事実を基に概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて構想したりする力、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを記述する力を養うようにする。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b ：思考・判断・表現	c ：資料活用の技能	d ：知識・理解
観点の趣旨	政治経済と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけ人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	政治経済と人間に関わる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その課程や結果を適切に表現している。	政治経済と人間に関わる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	政治経済に関わる事象と、人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	・記述点検（レポート）	・記述の確認、分析（レポート） ・定期考査	・記述の確認、分析（レポート）	・記述の確認、分析（レポート） ・定期考査

・学年末に５段階で評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1 範囲	政治機構、現代の政治 民主主義の基本原理、日本国憲法の基本的性格	・政治と法 ・民主政治の原理と発展 ・民主政治の混迷と課題 ・日本国憲法の成立 ・平和主義 ・基本的人権の尊重 ・人権のひろがり ・日本の政治機構 ・立法 ・行政 ・司法 ・地方自治 ・戦後政治の歩み ・選挙制度と政党 ・政治参加と世論	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a：民主政治、法、憲法、政治機構に対する関心を持って、意欲的に課題を追究し、よりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけ人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。 b：政治的事項から課題を見いだし、政治的事象の本質について考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その課程や結果を適切に表現している。 c：民主政治に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d：政治に関わる事象と、人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	・レポート ・スクーリング ・課題 ・定期考査
2 範囲	現代経済のしくみ 現代の国際政治、経済社会の変容	・国際政治の特質と国際法 ・国際連合と国際協力 ・現代国際政治の動向 ・核兵器と軍縮 ・人種・民族問題 ・国際政治と日本 ・資本主義経済の発展 ・グローバル化と現代資本主義経済 ・市場機構 ・現代の企業 ・金融のしくみ ・財政のしくみ	○ ○	○	○ ○	○ ○ ○ ○	a：国際政治、国際機構、市場経済、財政、金融に対する関心を持って、意欲的に課題を追究し、よりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけ人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。 b：国際政治、経済事項から課題を見いだし、国際政治、経済事象の本質について考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その課程や結果を適切に表現している。 c：国際機構、財政に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d：国際政治、経済に関わる事象と、人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	・レポート ・スクーリング ・課題
3 範囲	世界経済と日本 現代経済と福祉の向上	・日本経済の歩み ・日本の中小企業と農業 ・国民の暮らし ・労使関係と労働条件の改善 ・社会保障の役割 ・国際経済体制の変化 ・地域経済統合と新興国の台頭 ・経済協力と人間開発の課題	○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a：日本経済の歩み、中小企業、労働問題、社会保障、国際経済に対する関心を持って、意欲的に課題を追究し、よりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけ人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。 b：日本経済の歩み、労働問題、社会保障、国際経済に関する事項から課題を見いだし、その本質について考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その課程や結果を適切に表現している。 c：国際経済統合に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d：経済、国際協力、今後の課題に関わる事象と、人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	・レポート ・スクーリング ・課題

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：資料活用の技能　　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。